

愛媛県八幡浜警察署協議会会議録
(令和3年度第3回)

日時	令和4年2月18日（金曜日）午後2時～午後3時50分
出席者	1 警察署協議会側 会長以下6人（2人欠席） 2 警察署側 署長以下9人
議事概要	1 会長挨拶 八幡浜警察署の皆様においては、平素から管内の治安維持に御尽力いただき、改めて感謝申し上げます。 委員には、八西地区の安全・安心を守るため、八幡浜警察署の業務運営や施策等について、住民の視点から、積極的に意見・質問・要望を行っていただき、八幡浜警察署においては、我々の意見・要望を今後の警察業務に反映させて、地域の治安維持活動を積極的に推進していただきたい。 依然として新型コロナウイルスの猛威が収まる気配が感じられない状況であるが、健康管理に注意しながら、来年度からも計画的に協議会を開催していく。 2 署長挨拶 平素から、警察業務に御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。 昨年は、新型コロナウイルスの感染防止に最大限の注意を払いながら、管内の犯罪抑止対策、事件検挙等において、一定の成果を挙げることができた年であったと実感している。 一時は感染状況が落ち着きつつあった新型コロナウイルスも、年末年始を境に新たな変異株が猛威を振るい、全国的に新規感染者数症対策を更新するなど、依然として厳しい状況が続いているが、本年も、署員一丸となって、管内の安全安心を確保すべく、職務に邁進していく。警察業務運営への御理解・御協力をお願い申し上げます。

3 諮問及び答申

諮問	答申
令和4年八幡浜警察署運営目標について	○ 多様化する事件・事故に、限られた警察官の人数で対応しなくてはならない。警察官の負担を少しでも軽減させるため、関係機関との連携を強化してすべき。 ○ 消防や自主防災組織、防災士等との協力・連携、自治体等との防災協定締結、災害訓練の反復実施等に取り組み、災害対策を推進してほしい。 ○ 高齢者の振り込め詐欺被害を防止するため、高齢者だけでなく、その子供、孫世代にも裾野を広げて広報するべき。

4 業務推進結果、業務推進計画の説明

令和3年10月から令和4年1月までの業務推進結果、令和4年2月から5月までの業務推進計画について各課長等が報告、説明した。

5 自転車シミュレータ体験

交通課長が自転車シミュレータの使用要領や運用状況等を説明した後、協議会委員が乗車体験を実施した。

6 質疑応答、意見要望等

(1) 管内情勢の把握について

【委員】

地域住民同士の人間関係が希薄になり、近所にどのような人間が住んでいるのか分からない状況であるが、どのようにして管内情勢を把握しているのか。

【署長】

地域課の交番員・駐在所員が、それぞれの受け持ち区の各世帯を巡回する「巡回連絡」や住民からの困り事やトラブル等の相談を受ける「警察安全相談」を通じて、地域の情勢把握に努めている。

(2) 空き家対策について

【委員】

八西地区は空き家が多く、今後、人口の減少に伴い空き家の軒数は更に増えて、道路交通への影響や不審者の侵入等の問題が出てくるが、対策は講じているか。

【署長】

空き家については、既に行政も動いており、各種対策を講じているところである。八幡浜署も、先般、八幡浜市が主催する「八幡浜市空家等対策協議会」に出席し、行政との連携を図っている。

(3) 警察官の人数について

【委員】

事件事故が凶悪化、多様化する中、全体的にこれら事案に対応する警察官の人数が少なく、1人当たりの負担が大きいのではないかと感じている。今後、警察官の人数を増やす計画はあるのか。

【署長】

現時点、愛媛県警、八幡浜署の人員を増やす計画はない。

警察官の定員は、警察法等の関係法令で定められており、事件・事故の発生状況や管轄する自治体の規模等に応じて、各警察署の人数も振り分けられている。

また、職員の業務負担に関しては、業務量の平準化を図るため、職員1人1人の業務量を確認してカバーし、特定の職員が疲弊しないように、時には、部門の枠を超えてサポートするようにしている。

(4) 関係機関との連携強化について

【委員】

八西地区には、様々な団体や企業等がある。こうした関係機関と積極的に連携をとって協力関係を築くことができれば、警察職員の業務負担も改善されるのではないか。

【署長】

地域の安全安心を確保するためには、関係団体の協力と支援が不

可欠である。そのため、八幡浜署では、管内の自治体や企業等と協定を締結して協力関係の構築を図っている。

最近では、先般の警察署協議会で提案いただいた「高齢者の特殊詐欺被害防止に向けた民生委員との連携」を業務に反映させるため、生活安全課長が、八幡浜市と伊方町の民生委員の会議に出席して広報チラシを配布し、独居高齢者等への働きかけを依頼するなど、良好な協力関係を築くことに成功している。

(5) 高齢者を対象とした特殊詐欺被害防止対策について

【委員】

高齢者を対象とした特殊詐欺被害を防止するため、高齢者に対してだけでなく、その子供、孫世代にも裾野を広げて広報活動を実施するべき。

【署長】

詐欺グループは、独居の高齢者をターゲットにしており、これを防止するためには、定期的に声掛けを行うことが大事である。今後も、地域全体で住民の生活を守るため、地域住民と連携して特殊詐欺被害防止に取り組んでいく。

(6) 「ラウンドアバウト（環状交差点）」の効果と導入の可能性について

【委員】

伊予郡松前町のエミフル松前の敷地内に、「ラウンドアバウト」という環状交差点が設置されているが、交通事故発生抑止の効果はいかがか。また、八幡浜署管内にも導入される可能性はあるか。

【交通課長】

「ラウンドアバウト」は、平成30年1月に、エミフル松前の敷地内に導入されて以降、重大事故の発生は、把握しておらず、一定の効果を上げていると言える。現時点、八幡浜署管内に導入される予定はない。

(7) 国道378号線における歩行者、自転車等の安全確保について

【委員】

国道378号線にある出合橋（八幡浜市江戸岡）北詰めの交差点は、出勤の時間帯は、四輪やバイク等が狭い側道を頻繁に出入りしているため、同所を通過する歩行者や自転車にとって大変危険な場所である。信号や横断歩道の設置を検討できないか。

【交通課長】

同交差点の東西に延びる川沿いの側道は、朝の出勤時間帯に、車やバイクがショートカットのために頻繁に利用しており、一時停止の規制がなされている。その前方にある歩道は、歩行者や自転車の通過をドライバーにアピールするため、茶色で塗装されている。

今後、塗装箇所の塗り直しや交通規制の見直し等を含めて、道路管理者と連携しながら、安全対策を進めていく。

(8) 「八幡浜警察署協議会だより」の発出について

【委員】

こまめな「八幡浜警察署協議会だより」の発出に感謝を申し上げる。

八幡浜署が取り組んだ業務や行事等の結果を、写真付きで分かりやすく説明してくれており、とても楽しみにしている。「警察はこんな業務をしていたのか」と新たな発見もある。今後も続けてほしい。

【署長】

今後も、委員の皆様に警察業務を知っていただくため、タイムリーな協議会だよりの発出に努めていく。

(9) 前照灯のこまめな切り替えについて

【委員】

交通課長が「夕暮れ時の早めのライト点灯・前照灯のこまめな切り替えキャンペーン」に関する報告をしてくれたが、実際、ハイビームとロービームのこまめな切り替えは遵守されているのか。

【交通課長】

前照灯の正式名称は、「ロービーム：すれ違い用前照灯」「ハイビーム：走行用前照灯」であるため、原則は、ハイビームで走行し、対向車や先行車がいる場合、ロービームに切り替えることが基本となるが、市街地では周囲に車両がない場合が少ないため、ロービームでの走行が多くなる。

この中でも、対向車や走行車がなく、街灯等もないような暗い郊外を走行しているにも関わらず、ロービームのまま走行する車両はま

だまだ多いのが現状であることから、今後、交通安全教室等の行事や取締り等の施策に積極的に取り組んで、ドライバーへの浸透を図っていきたい。

(10) トンネル内の歩道等の安全確保について

【委員】

「大峠トンネル（八幡浜市保内町宮内）」や「愛宕山トンネル（八幡浜市大平）」は、多数の車両が走行している影響からか、歩道上に大量の砂が堆積し、同所を通行する自転車や歩行者の転倒事故発生が危惧される。清掃や整備等の対応を早期に行ってほしい。

【交通課長】

道路管理者に連絡して、早期対応を依頼する。

【警察署協議会の開催状況】



【自転車シミュレータ乗車体験の様子】

